

健康経営戦略マップ

作成：2026年9月

健康投資

健康意識の
向上

生活習慣病
発生・重症化
予防施策

メンタルヘルス
不調対策

女性特有の
健康課題

エンゲージ
メント向上

健康イベント

- ・グループウォーキング（年2回）
- ・健康チェックイベント（複数拠点）
- ・健康セミナー・禁煙プログラム
- ・インフルエンザワクチン接種

健康情報発信

- ・健康※に関するメルマガ配信
- ※食生活改善・睡眠・がん予防 など
- ・保健だより

早期発見・予防策

- ・受診勧奨の実施
- ・二次健診・保健指導受診勧奨
- ・人間ドックがんオプション健診補助

健康管理業務のDX推進

- ・フォロー強化（GTR・タレントノバレット）
- ・迅速な受診勧奨

メンタルヘルス予防・早期発見

- ・選択型メンタルヘルス教育
- ・ストレスチェック・メンター制度

問診・産業医による健康サポート

- ・問診票による健康状況確認
- ・希望者・必要者への産業医面談

女性特有の健康課題

- ・セルフチェック面談
- ・女性特有の健康に関するセミナー
- ・女性のための電話相談窓口

ライフ・ワーク・バランスの推進

- ・労働時間適正化・年休取得推進
- ・仕事と育児・介護の両立支援
- ・各種休暇制度が取得しやすい職場づくり

従業員のキャリア支援

- ・社内公募制度（適材適所）
- ・多様な学び（LXP）

健康投資の効果

健康投資施策の取り組み 状況に関する指標

セミナー・研修・プログラム
参加者数・閲覧者数の増加

ウォーキングイベント期間
1日平均歩数8000歩達成者数

人間ドック・定期健診受診率(100%)

特定保健指導実施率

二次健診・精密検査受診率

オプション健診受診率

健康フォロー実施率

ストレスチェック受検率

メンタルヘルス教育実施者数

セルフチェック対象年次面談100%

女性の健康に関するセミナー受講率

年休取得率の向上

年間実労働時間の減少

育児・介護の両立支援ポイント利用数

自律的キャリア形成支援にかかる指標
（資格取得など費用補助の利用者数、
キャリア教育への参加者など）

従業員等の意識変容・ 行動変容に関する指標

生活習慣の適正化
（睡眠、食習慣、適正体重）

喫煙率の減少

治療継続率の維持・向上

セルフケアの知識向上
（参考になった率）

セルフケアの実施率・継続率

年休取得目標及び
残業数値目標の達成

社員意識調査（成長志向、
継続的改善）肯定率向上

介護などに活用できる会社制度の認知度

eラーニング受講率

BPiE 資格取得率
（ビジネス・プロセス革新エンジニア）

健康関連の最終的な目標指標

身体的健康の維持・改善
（ハイリスク対象者の減少）

精神的健康の維持・改善
（ストレスチェック高ストレス者数の減少）

休職者減少・生産性の向上
（精神疾患に起因する休職者の減少）

職場のいきいき度指数向上
（ストレスチェックの該当設問より算出）

個人のいきいき度指数向上
（ストレスチェックの該当設問より算出）

健康経営の浸透状況

- ・従業員意識調査
- ・健康経営優良法人(大規模法人部門「ホワイト500」)継続

方針実現のための 体制・環境

- ・社長メッセージ・社内SNS
- ・タウンホールミーティング
- ・各種相談窓口

サポート、組織的支援（POS） WSC等

- ・社内コミュニケーション（One BS）
- ・支え合い、お互いに気遣える職場づくり

トップメッセージ

社員一人ひとりの心身の健康は、BPOサービスの品質と生産性を支える経営基盤です。支え合い、お互いを気遣える風土のもと、健康で活力ある職場づくりを経営の最重要課題として全社で推進します。

代表取締役社長

目標年：2030年

KGI

アブセン
ティーズムの
低減
対前年度比
改善

プレゼン
ティーズムの
低減
対前年度
比改善

社員のエン
ゲージメント
指数向上
対前年度
比改善

健康経営 の推進 方針

社員一人ひとりが健康でウェルビーイングを体感しながら能力を発揮し、組織の生産性向上を実現する

従業員の安全と健康を最重要の経営基盤と位置づけ、自律的に健康保持・増進に取り組める環境づくりを推進する

経営 方針

BPOサービスでお客さまと共にプロセス改革を実現し、日立グループの生産性向上に貢献する

従業員の健康課題

- ・年齢構成の変化に伴う生活習慣病リスクの高まり
- ・女性社員比率上昇に応じた女性特有の健康課題への対応
- ・メンタルヘルス不調の予防・早期対応